

平成31年度喜多方市の学校教育 指導の具体的方策 最重点内容
 (各学校においては、上段の学校での取組について、最重点内容として取り組んでください。)

1 6つの施策目標ごとの主な取組

(1) 施策目標「自己啓発力の育成」

人としてよりよく生きようとする意志や態度を身に付けた子どもの育成を目指します。

重点 施策	ア 生き方を探究する教育の展開
	教養を修め、主体的でたくましい実践力を育成し、創造性を発揮して個性豊かな自分の生き方ができる教育を行います。
概要	(1) 創造性を発揮し個性豊かな自分の生き方ができる教育の展開（各学校） 全教科で、主体的に考える力を付ける場を設定し、道徳、特別活動等では、個性を重視した自分の生き方を考える題材を用いた授業を行う。 (2) 「喜多方市人づくりの指針」の活用（各学校） 校長講話や生徒指導講話等において、「喜多方市人づくりの指針 なかよくたくましく生きる」を用いて自分自身の生き方について考える場を設定する。 (3) 「学校いじめ防止基本方針」の徹底（各学校） 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、全教育活動を通じて、人としてよりよく生きようとする態度を身につける。
	(4) 生徒指導研修会の開催【新規】（学校教育課） 人としてよりよく生きようとする資質を身に付けた児童生徒の育成方法や学校が抱える生徒指導上の問題について情報共有をする研修会を開催する。 (5) 喜多方市いじめ問題対策連絡協議会の開催【継続】（学校教育課） いじめ防止対策推進法の趣旨を踏まえ、法務局、警察、福祉団体、教育機関等と連携し、いじめの未然防止等の基本的な方針や対策等を協議する。

重点 施策	イ 自尊心、自己肯定感を育む教育の展開
	肯定的な自己理解と他者理解に基づく自尊心は、夢や目標を持つことやその達成に有効に働く要素であり、認める、称賛する関わりを工夫して育む教育を行います。
概要	(1) 全教育活動を通じた教師の見取りと心地よい働きかけ（各学校） 日常的な触れ合いの場と機会の設定や教育相談・アンケートを計画的に実施する。1日1回は、承認や称賛などの言葉かけの場を設定し、児童生徒との共感的理解を図る。 (2) 肯定的な自己理解と他者理解を育む教育活動の展開（各学校） 授業の中で、児童生徒自らが「調べる、考える、書く」場を意図的に設定する。 ・グループ学習やペア学習等、学習形態を工夫して実践する。 ・授業や学校生活全般において、児童生徒が発表する場面を多く設ける。 ・学校生活全般を通して、集団の一員としての役割を担う場を設ける。 (3) 自他のよさに気づき、自己肯定感を高める個を尊重する指導の実施（各学校） 共感的人間関係を育む教育活動を展開するために、ペア学習や相互評価等を取り入れたり、自分や友だちのよさを知ったり、反省や改善する場、認め合う場の設定を図る。小中学校ともに、敬称（「～さん」）付けで呼ぶ取組を行う。

重点 施策	ウ 農業科、自然体験学習の展開
	小学校農業科では、「自然」「人」「社会」へのかかわりを通して、「命」の大切さを学ぶことを基本に「豊かな心の育成」「社会性の育成」「主体性の育成」など児童の心の育成を図ります。 また、多種多様な自然体験活動を推進し、子どもたちの「豊かな人間性」「自ら学び、自ら考える力」を育みます。
概要	(1) 小学校農業科の推進（各小学校） 小学校総合的な学習の時間において、発展的、学術的な学びのステップを位置付け農業体験を実践する。併せて、農業科で学んだことを各教科や領域に横断的に活かす。 (2) 自然体験学習の展開（各学校） 実社会で求められるコミュニケーション能力や主体性、協調性、チャレンジ精神、

	責任感、創造力等を育む自然体験学習を展開する。
	(3) 小学校農業科研修会の開催【継続】(学校教育課) 喜多方市に初めて勤務する小学校教員等を対象に農業科研修会を開催する。
	(4) 小学校農業科研究会の開催【継続】(学校教育課) 小学校農業科の事業評価等について委嘱したアドバイザーから意見をいただく研究会を開催する。
	(5) 小学校農業科支援員交流会の開催【継続】(学校教育課) 各小学校の農業科支援員及び担当教員等が一堂に会し、情報交換を通して自校の農業科の向上について協議を行う。
	(6) 小学校農業科作品コンクールの開催【継続】(学校教育課) 農業科の感想などをまとめた児童作品(作文等)コンクールを開催する。

重点 施策	エ 子どもの夢や希望を育む教育の展開
	子どもたちに「本物」(人、自然、文化、芸術、スポーツ、科学等)に触れさせ、憧れをもったり、感動を味わったりする機会をつくり、夢や希望を育みます。
概要	(1) 心に響く、心に残る教育活動の展開(各学校) 豊かな体験と確かな学びでやる気や意欲を高め、自ら成長する児童生徒を育てるため、心に響く、心に残る体験の場を教育課程に位置づける。
	(2) 喜多方っ子の「夢」実現事業の展開【継続】(学校教育課) 喜多方に生まれ育った子どもたちが各界の第一線で活躍する「本物」に触れ、文化的教養を高めるとともに、生き方を探究する力いわゆる自己啓発力を高める機会とする。 予定講師：鈴木猛史氏(猪苗代町出身 チェアスキーヤー)

(2) 施策目標「学ぶ力の基となる基礎的な資質・能力の育成」

知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を働かせ、主体的な問題解決できる子どもの育成を目指します。

重点 施策	ア 知的好奇心や問い力を育成する教育の展開
	一人一人の発達段階や興味関心、知的好奇心、ものの見方・考え方、既習事項や生活経験などを大切に学習活動を充実させます。
概要	(1) 学ぶ意欲を高める学習活動の充実(各学校) 教材との出会わせ方の工夫、既習事項の振り返りなどの学習活動を充実する。
	(2) 指導訪問・授業改善訪問の実施【継続】(学校教育課) 年次計画により、指導主事が小・中学校を訪問し、実態と問題点を捉えるとともに、当面する課題について校長及び教職員と協議し、具体的な解決の方法について指導・支援する。
	(3) 学力生徒指導応援訪問の実施【新規】(学校教育課) 校長の求めに応じ、授業困難学級や学力に課題等がある学級・学校に対し、担当指導主事が年間を通して学級・学校を訪問し、学習指導・生徒指導の改善を図る。
	(4) 小学校外国語活動研修会【継続】(学校教育課) 新学習指導要領で予定されている外国語科、外国語活動の研修会を開催する。

重点 施策	イ 知識・技能・技術の習得力を育成する教育の展開
	知識・技能・技術が確実に身に付くよう、望ましい学習習慣の育成と学習規律の定着を図るとともに、教師の話をしっかり聞き取る力や繰り返し練習する態度、学びを振り返る力などを身に付けさせる教育を充実させます。
概要	(1) 適切な学習課題、まとめ、振り返りにより学びが深まる授業の展開(各学校) 適切な学習課題・まとめ・振り返りのある授業を継続することで、学びを深める授業を展開する。
	(2) 英語力の向上(ALT配置事業)【継続】(学校教育課) 外国人の英語指導助手(ALT)を小中学校に派遣し、児童生徒が外国人と気軽に接することにより、英語学習の意欲を高めるとともに、生の英語による語学力の向上を図る。
	(3) 学校図書館の機能強化(学校司書配置事業)【継続】(学校教育課) 全小中学校に学校司書を配置することにより、学校図書館の機能を充実させ、児

	児童生徒の読書習慣の定着と調べ学習の支援による学力向上を図る。 (4) 喜多方市学校教育指導委員会の開催【継続】(学校教育課) 市内小中学校教員から学校教育指導委員を委嘱し、学校教育に関する指導資料の作成、学校訪問における研修を行う学校教育指導委員会を開催する。
--	---

重点 施策	ウ 思考力・判断力・表現力、活用・応用する力を育成する教育の展開 知識・技能を活用する学習活動や比較・検討等を考える場を工夫・設定し、課題の解決に主体的に取り組む学習活動を充実させます。
概要	(1) 教師が話すから子どもがかかわり合い、創る授業の実施(各学校) 主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)やグループでの討議や話し合い活動の充実等をこころがけ、子どもが創る授業を展開する。 (2) 学力向上研修会の開催【新規】(学校教育課) 新学習指導要領で目指している学びや全国学力学習状況調査やふくしま学力調査への取組について情報共有をする研修会を開催する。

重点 施策	エ 自ら学ぶ力(学び方や学び合いを身につけさせる)を育成する教育 「何をどのように学ぶか」「新たな問題をどう解決するか」という学習の仕方や問題解決能力を身に付けさせるため、幼児教育や小・中学校の発達段階、学習内容の系統、学びの連続性を大切に、自ら学ぶことや友だちと学び合うことの意味や価値を知る学習指導に取り組むとともに道徳心と健やかな身体を養います。
概要	(1) 自ら学ぶ、友達と学び合う意味や価値を知る学習指導の展開(各学校) グループ学習やペア学習などの学習形態を工夫するとともに、課題解決学習を導入した授業実践を行う。 理科や社会科において、自ら問題を発見し、解決する学習を導入した授業実践を行う。 (2) オフスクリーン喜多方っ子運動の展開【継続】(各学校) 急速な情報化に伴う影響について家庭とともに考え、児童生徒の健全育成をめざすオフスクリーン喜多方っ子運動を展開する。 (2) フッ化物洗口の実施【継続】(保健課との連携) 保健課と連携し、虫歯予防のため小学校児童のフッ化物洗口を実施する。 (3) 幼小連携の推進(こども課との連携)【継続】(学校教育課) 小学校とこども園・保育所等が相互理解を深めて連携を強化できるよう、幼小連携研修会の開催や指導訪問を開催する。 (4) 体力向上推進事業の展開【継続】(学校教育課) 体力向上、肥満防止解消に向け希望する学校に対し、研修会を開催する。 (5) 水泳実技研修会の開催【継続】(学校教育課) 小学校教員を対象に児童の泳力向上のため水泳実技研修会を開催する。

- (3) 施策目標「勤労観、職業観及び職能の基本的資質・能力の育成」
- 地域や社会の発展に貢献できる資質を身に付けた子どもの育成を目指します。

重点 施策	ア ICT活用力と情報活用能力の育成 児童生徒が情報を収集・選択し、文章や図・表にまとめたり表現したりする際に、ICTを有効ツールとして活用することで、教科内容のより深い定着を目指します。また、これらの情報を活用する力(情報活用の実践力、情報の科学的な理解力、情報社会に参画する態度)をバランスよく育てていきます。
概要	(1) ICT活用力と情報活用能力の育成(各学校) パソコン等を用いて児童生徒が授業内で情報を収集・選択し、文章や図・表にまとめたり表現したりすることでより深い理解や定着を目指す。 (2) 情報モラル教育の推進(各学校) スマートフォンの普及による情報の氾濫とそれに起因して急増する犯罪に巻き込まれないようにする知識や情報社会で活動するための基礎となる考え方や態度を育成する。特に、保護者との連携が重要であることから、保護者に対する啓発を推進する。

	(3) 教育用P C整備事業【継続】(学校教育課) 小中学校に教育用P C等を整備し、社会の変化に対応する力を育成する。 (4) 小学校プログラミング研修会の開催【新規】(学校教育課) 新学習指導要領で示されているプログラミング学習についての研修会を開催する。
--	--

重点 施策	イ キャリア教育（肯定的な自己理解、夢や目標、努力）の展開 様々な教育活動を通し、一人一人の社会的・職業的な「自立」に向け、必要な基盤となる資質や能力・態度の育成を図り、望ましい勤労観・職業観を育てていきます。
概要	(1) キャリアプランニング能力の育成（各学校） 自立に向け必要な基盤となる資質や能力態度の育成を図る。小学校においては、将来の夢や希望、憧れをもてるようにする学級活動の展開、中学校においては、自己の進路を主体的に考え進路選択の計画を立てる活動の展開を行う。

重点 施策	ウ 体験活動、ボランティア活動を重視した教育の展開 教育活動全般を通して、体験活動（特に他と触れ合い関わり合う「直接体験」）やボランティア活動の推進と充実を図り、自らの思考や知識を働かせ、実践する力を育みます。
概要	(1) 体験活動・ボランティア活動の推進（各学校） 家庭や地域社会との連携を図りながら、教育活動に体験活動やボランティア活動などを取り入れ、豊かな情操を育てる。

重点 施策	エ 創造力が発揮できる教育の展開 発明、発見、ものづくりなど様々な体験活動を通して生まれた、児童生徒の知識や気づき、興味等を活かし創造性を育みます
概要	(1) ものづくり等による創造力の育成（各学校） 社会科、生活科、理科、家庭科、総合的な学習の時間、技術家庭科等において、さまざまなものづくりを行い、創造性を育む教育を展開する。

(4) 施策目標「共助、協働の態度及びコミュニケーション能力の育成」

住みよい社会づくりのために、互いのよさを認め合い高め合う資質を身に付けた子どもの育成を目指します。

重点 施策	ア 規範意識及び実践的態度を育む教育の展開 児童生徒が市民参加型の民主主義社会の担い手として、必要な知識・スキル・価値観を身に付けるための市民性教育（シチズンシップ教育）を充実させる中で、規範意識や実践的態度を育みます。
概要	(1) 道徳教育の充実（各学校） 「特別の教科 道徳」の授業改善に努めるとともに、「考える道徳」「議論する道徳」授業を実践する。 (2) 喜多方市子ども議会の開催（学校教育課） 児童生徒が政治について学ぶため、市民参加型の民主主義社会を体験する喜多方市子ども議会を開催する。

重点 施策	イ 対人関係の基礎的スキルを習得する教育の展開 一人一人の人間関係を作る力としての自己理解(受容)や他者理解(受容)の力、人と関わる技能を育むとともに、一人一人の自己実現を目指した学級集団の人間関係づくりを推進します。
概要	(1) Q-Uテスト活用による児童生徒理解（各学校） 小学校5、6年、中学1年を対象に各校でQ-Uテストを実施し、結果の活用により、よりよい学級集団を形成する。 (2) 実態に応じたソーシャルスキルトレーニング、構成的グループエンカウターの実践（各学校） Q-Uの結果に応じ、よりよい人間関係の構築を目指してソーシャルスキルトレ

	ーニング、構成的グループエンカウンターを行う。 (3) レーダーチャートを活用した学級力の可視化（各学校） 学級力アンケートの集計結果を学級力レーダーチャートに表し、児童生徒による自己診断から学級力の高い学級集団を目指す。 (4) 学級力向上サポート事業Q-U研修会の開催【継続】（学校教育課） Q-Uの専門家を招聘し、児童生徒一人一人が居心地の良さを感じるよりよい学級集団づくりに寄与することを目的として、研修会を開催する。
--	--

重点 施策	ウ 集団及び郷土に自信と誇りが持てる教育の展開 学校のある地域や郷土を知り理解する教育を推進し、自分の生まれ故郷に対して自信と誇りを持ち、それを人前で自信を持って表現できる子どもの育成を図ります。
	(1) 地域参加型学校づくりの推進（各学校） 地域の人材を活用し、教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の充実を図ることで地域の学校化を目指す。 (2) 喜多方市美術館・郷土民俗資料館等の活用（各学校） 社会科、総合的な学習の時間等において、教育施設（美術館、郷土民俗資料館等）や歴史的建造物等を活用し、自分の生まれ故郷に対して自信と誇りを持てる教育活動を展開する。 (3) 東大和市作品展への作品展示【継続】（学校教育課） 姉妹都市である東大和市作品展へ中学生の作品を展示することにより、姉妹都市交流を深め、郷土に対する意識化を図る。

重点 施策	エ インクルーシブ教育システムの構築を目指す特別支援教育の推進 障がいのある、なしにかかわらず、その能力に応じた教育を受ける機会を確保し、合理的配慮を実践し、基礎的環境の推進を図ることで、インクルーシブ教育システムの構築を図ります。
	(1) インクルーシブ教育システムの構築を目指す（各学校） 合理的配慮、交流学习の推進や関係機関との連携など、障がいの有無にかかわらず共に学ぶ仕組みづくりを推進する。 (2) 教育支援委員会・専門委員会の開催【継続】（学校教育課） 教育支援委員、教育支援専門委員を委嘱し、適正な就学支援のため、教育支援委員会を開催する。 (3) 学校生活支援員の配置【継続】（学校教育課） 学校の希望により特別に支援が必要な児童生徒の支援のため、学校生活支援員を配置する。 (4) 特別支援教育研修会の開催【新規】（学校教育課） 特別支援教育コーディネーター等のスキルアップのため、研修会を開催する。 (5) 学校生活支援員研修会の開催【継続】（学校教育課） 学校生活支援員（各学校、こども園）のスキルアップのため、研修会を開催する。

（５）施策目標「教員の資質・能力の向上」

全ての子どもの可能性のよさ、持ち味、特徴等を引き出し、活かし、伸ばす教員の資質・能力を向上させます。

重点 施策	ア 各種研修会の開催 児童生徒を理解する力、授業力、生徒指導力、学級経営力等、先に挙げた児童生徒の４つの資質・能力を育成するために必要な力を高めるための研修会等を充実させます。
	(1) 学力向上対策事業の実施【継続】（各学校） 学力向上のための職員研修を行う。

	(2) 小中校長会議の開催【継続】（学校教育課） 教育委員会の事業等について周知を図るため、小中校長会議を開催する。 (3) 学校事務の共同連携事業の実施【継続】（学校教育課） 西会津町教育委員会と共同で学校事務の共同連携事業を開催する。 * 教育委員会が企画する教員対象の研修会は施策（１）～（４）参照
--	--

重点 施策	イ 新たな人事評価の効果的な実施 教員の能力開発や資質の向上及び組織の活性化に向けた人事評価を充実させます。
概要	(1) 教職員人事評価の実施【継続】（学校教育課） 県教育委員会の教職員人事評価に基づき人事評価を実施する。

(6) 施策目標「安全で楽しく学ぶことができる学校環境の整備」

全ての子どもが安全に安心して学ぶことができる快適な環境を整備します。

重点 施策	ア 小・中学校の適正規模・適正配置の推進 少子化時代に対応した活力ある学校づくりの視点から、教育環境の整備と教育内容を充実させるため、小・中学校の適正規模・適正配置を推進します。
概要	(1) 小中学校適正規模適正配置事業の推進【継続】（学校教育課） 教育環境の整備を目的として、小中学校の適正な学校規模及び適正な配置に関し検討を行う。

重点 施策	イ 安全・安心で個を活かす教育環境づくりの推進 悩みを持つ子供が気軽に相談できる体制や不登校の子どもが人と触れ合ったり、学習したりできる教育環境づくりと安全・安心な給食体制等の準備を進めます。
概要	(1) スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの配置【継続】（学校教育課） 悩みを持つ子供、教師、保護者が気軽に相談できる体制整備を目的として、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置する。 (2) 学習サポーターの配置【継続】（学校教育課） 外部人材を放課後及び長期休業における個別の学習支援等のため、学校の希望に応じて小学校に配置する。 (3) ボランティア学習サポーターの配置【継続】（学校教育課） 退職校長等のボランティア人材を放課後及び長期休業における個別の学習支援等のため、学校の希望に応じて小学校に派遣する。 (4) サポートティーチャーの配置【継続】（学校教育課） 福島県教育委員会事業であるサポートティーチャー派遣事業を活用し、放課後及び長期休業における個別の学習支援等のため、サポートティーチャーを小中学校に配置する。 (5) 不登校学習サポーターの配置【継続】（学校教育課） 福島県教育委員会事業である不登校・いじめ等対策総推進事業学習サポーター派遣事業を活用し、不登校学習サポーターによる学習支援を行う。 (6) 小中学校給食費負担軽減事業の実施【継続】（学校教育課） 子育て世代の経済的な負担軽減を図るため、小中学校における学校給食費に要する経費に対し補助金を交付する。 (7) 通学路安全推進プログラムの推進【継続】（学校教育課） 小学校の通学路において関係機関と連携して合同点検を実施し、通学路の安全確保を図る。

重点 施策	ウ チーム学校づくりの理念を活かした教育活動の推進 多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に課題解決を図るとともに、教職員が職務に専念できる環境をつくり、子どもと向き合う時間を創出します。
概要	(1) 中学校区学校改善委員会・保健委員会の開催【継続】（各中学校区） 中学校区ごとに、体系的な学びを構築するため、学校改善委員会、学校保健委員会を実施する。

	(2) 学校課題対応事業の実施【継続】(学校教育課) ① 特別支援教育アドバイザーの配置 各学校、こども園等の要請により指導を行う特別支援教育アドバイザーを教育委員会に配置する。 ② 学習指導補助員の配置【継続】(学校教育課) 学校の希望により教員免許を有する学習指導補助員を配置する。 (3) 学校評議員会の設置【継続】(学校教育課) 学識経験者や地域住民、保護者等を評議員として委嘱し、各校に学校評議員会を設置する。その学校の課題に対して、幅広く意見を聴取することで地域に開かれた学校づくりを推進する。 (4) コミュニティ・スクールモデル事業の実施【新規】(学校教育課) 学識経験者や地域住民、保護者等を学校運営協議会員に委嘱し、学校と運営協議会がともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら「地域とともにある学校づくり」を進める。31年度はモデル事業として実施する。
--	---

重点 施策	エ 児童生徒の向上心や達成感を高める大会等への参加支援
	学校活動として音楽祭や体育大会等に参加する際の保護者の経費を補助することにより、各種大会に参加しやすい環境をつくり、児童生徒と向き合う時間を創出します。
概要	(1) 音楽祭参加補助事業【継続】(教育総務課) 小学校において、音楽祭に参加する際の参加料や交通費の経費について補助し、保護者の負担軽減を図る。
	(2) 中体連等参加補助事業【継続】(教育総務課) 中学校において、中学校体育大会や音楽祭等に参加する際の参加料や交通費等の経費について補助し、保護者の負担軽減を図る。

重点 施策	オ 均等な教育機会を確保する支援
	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減する就学援助に取り組みます。
概要	(1) 児童生徒保護者負担軽減事業【継続】(教育総務課) 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、経済的負担の軽減を図る。

重点 施策	カ 安全・安心な学校施設の整備
	予防保全型の維持管理を行い、突発的な修繕を減らすとともに、計画的な改修・改築等に取り組み、社会の変化に対応した教育活動ができる施設・設備の充実や児童生徒の安全を重視した施設・設備の整備を推進します。
概要	(1) 小中学校施設改修・改築事業【継続】(教育総務課) 老朽化した学校施設の改修または改築することにより、教育施設としての機能を維持し、望ましい教育環境を整備する。

重点 施策	キ 遠距離通学における安全・安心の確保
	スクールバスの運行により、遠距離からの安全・安心な通学手段を確保するとともに、公共交通機関の利用による遠距離通学を支援します。
概要	(1) 児童生徒保護者負担軽減事業【継続】(学校教育課) 遠距離から通学する児童生徒の保護者に対し、公共交通機関の利用に要する経費を補助する。

* 学期ごとの実施状況を把握するため、学期ごとに取組状況調査を行う予定。

第1回 7月調査
第2回 10月調査
第3回 2月調査

達成目標

施策目標	「自己啓発力の育成」	全国学力学習状況調査質問(6) 「自分には良いところがありますか。」 市の目標 小 40% 中 30%
	「学ぶ力の基となる基礎的な資質・能力の育成」	全国学力学習状況調査 国語科、算数科、数学科全国平均との比較 市の目標 各科目とも全国平均並 U A ゼロ 成就値前年度比アップ
	「勤労観、職業観及び職能の基本的資質・能力の育成」	全国学力学習状況調査質問(9) 「将来の夢や目標を持っていますか。」 市の目標 小 75% 中 55%
	「共助、協働の態度及びコミュニケーション能力の育成」	Q－U 学級満足度群の割合 市の目標 小 75% 中 70% 学級不満足度群の割合 市の目標 小 0% 中 0%